

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年12月29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	昨年から徐々に地域との接点は増えているが、地域における施設の資源を十分生かしていない。	地域におけるグループホームとしての役割を明らかにしつつ、開かれた施設となれるように、内外での交流を目指す。	運営推進会議のありかたを検討し、定期開催できるような計画を立てる。	12ヶ月
2	35	火災、災害時における対応で、夜間についての対応が不十分な点がある。	夜間や少人数時の対応を検討し、地域と連携した防災体制を構築する。	夜間を想定した訓練と、災害避難計画の策定をおこなう。また地域の防災訓練に参加する。	12ヶ月
3	1	理念が設定され、周知もしており、職員も知っているが、理念に対する理解が浅く、言葉のみとなっており、具体的なケアに十分生かしていない。	定期的なミーティングや話し合いを、スタッフ間で持てる機会を設ける。また、研修や、内外の職場交流を通して、ケアの手法やあり方に触れる機会を作る。	ミーティングなどで話し合いの場を、定められたスケジュールに沿って定期的に行う。また、教育や研修の機会を持つように検討する。	12ヶ月
4	40	食事が、施設のような雰囲気を持っているので、自宅のように各自のペースで楽しく食べられる料理、食事のスタイルを検討する。	ご利用者の食事のスタイルに合わせ、施設のような画一的にならないよう、家庭的な雰囲気で食べられるように検討する。	ご利用者と職員と一緒に食べることが出来るような取り組みや、好きなものを食べる日など、メニューにこだわらない食事を検討する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。